

わたしは背いたお前たちをいやす。」

「我々はあなたのもとに参ります。  
あなたこそ我々の主なる神です。」

限りなくいます全能の神、天においても地においても万物を支配しておられる主よ、どうか慈しみをもつて主の民の願を聞き入れ、主による平安をこの時代にお与えください。主イエス・キリストによつてお願いたします。

アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましよう」

会衆は着席する。

### 旧約聖書

朗讀者 「旧約聖書はエレミヤ書第三章二十一節から」

21 裸の山々に声が聞こえる  
イスラエルの子らの嘆き訴える声が。  
彼らはその道を曲げ  
主なる神を忘れたからだ。  
「背信の子らよ、立ち帰れ。」

1 「立ち帰れ、イスラエルよ」と  
主は言われる。  
「わたしのもとに立ち帰れ。  
呪うべきものをわたしの前から捨て去れ。  
そうすれば、再び迷い出ることはない。」  
2 もし、あなたが眞実と公平と正義をもつて

23 山々での騒ぎも偽りにすぎません。  
まことに、我々の主なる神に  
イスラエルの救いがあるのです。

24 我々の若いときから

恥ずべきバアルが食い尽くしてきました  
先祖たちが勞して得たものを  
その羊、牛、息子、娘らを。

25 我々は恥の中に横たわり

辱めに覆われています。  
我々は主なる神に罪を犯しました。  
我々も、先祖も

若いときから今日に至るまで

主なる神の御声に聞き従いました。

「主は生きておられる」と誓うなら  
諸国<sup>しよこく</sup>の民<sup>たみ</sup>は、あなたを通して祝福<sup>しゆくふく</sup>を受け  
あなたを誇りとする。

### 朗讀者

「旧約聖書を終わります」

### 詩編

#### 第一三〇編

1 腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。  
2 主よ、深い淵からあなたに呼び=嘆き祈るわたしの声  
3 を聞いてください  
4 主よ、あなたが目を留められるなら=主よ、だれがあ  
5 なたの前に立ちえよう  
6 しかし、あなたの赦しのために=人はあなたを畏れか  
7 しかし、あなたの赦しのためには=人はあなたを畏れか  
8 わたしは主を待ち望む、わたしの魂は待ち望む=わ  
9 たしはみ言葉に寄り頼む  
10 夜回りが曉を待ち望むにもまして=わたしの魂は  
11 主を待ち望む  
12 イスラエルよ、主に寄り頼め=主はゆたかな頣いに満  
13 ち、慈しみ深い

7 神は、すべての罪から=イスラエルを救われる

### 使徒書

「使徒書はコリントの信徒への手紙I 第七章十七節  
から」

### 朗讀者

「使徒書を終わります。」

17 おのおの主から分け与えられた分に応じ、それぞれ神に召されたときの身分のままで歩みなさい。これは、すべての教会でわたしが命じていることです。18 割礼を受けている者が召されたのなら、割礼の跡を無くそうとしてはいけません。19 割礼の有無は問題ではなく、大切な割礼を受けていない者が召されたのなら、割礼を受けようとすればいけません。20 おのおの召されたときの身分は神の掟を守ることです。21 召されたときに奴隸であった人も、にとどまつていなさい。22 といふのは、主によつて召された奴隸は、主によつて自由の身にされた者だからです。同様に、主によつて召された自由な身分の者は、主によつて召された奴隸なのです。23 あなたがたは、身代金を払つて買い取られたのです。人の奴隸となつてはいけません。

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

## 福音書

司祭會衆

「主は皆さんとともに」  
「また、あなたとともに」

「聖マルコによる福音書第一章十四節以下に記され  
た主イエス・キリストの福音。」  
「主に榮光」

司祭會衆

「主に感謝します」  
「主に感謝します」

14 ヨハネが捕らえられた後、イエスはガリラヤへ行き、神の福音を宣べ伝えて、15 「時は満ち、神の国は近づいた。悔く神を改めて福音を信じなさい」と言われた。

16 イエスは、ガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、シモンとシモンの兄弟アンデレが湖で網を打っているのを御覧になつた。彼らは漁師だつた。17 イエスは、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われた。18 一人はすぐに網を捨てて従つた。19 また、少し進んで、いざベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが、舟の中で網の手入れをしているのを御覧になると、20 すぐに彼らをお呼びに残つた。この二人も父ゼベダイを雇い人たちと一緒に舟に残つた。この二人も父ゼベダイをして、イエスの後について行つた。